

持続可能な社会へ  
「発想の転換必要」  
オイスカ国際高で講演会

浜松市中央区のオイスカ  
浜松国際高で12日、SDG  
s（持続可能な開発目標）  
をテーマにした講演会が  
開かれた。洋上風力発電な  
ど再生可能エネルギー事業  
を手がけ、市内に拠点を持  
つインフラックス（東京）  
の社員が講師を務め、1  
年生約190人が聴講し  
た。



同社プロジェクト開発事  
業部の市川悠さんが、気候  
変動に伴って増加する近年  
の大規模災害に触れ、地球  
環境変化の影響は国境を越  
えて長期的に及ぶと指摘。

対策の一環で世界規模で進  
む温室効果ガス削減など脱  
炭素の動きを解説した。市  
川さんは変化が続く現代社  
会の課題解決のキーポイン  
トにサステナビリティ（持  
続可能性）やダイバーシテ  
ィ（多様性）を挙げ、「課  
題に対して、発想を転換し  
チャレンジしてほしい」と

呼びかけた。

古川ルイザさんは  
「自分たちの将来に  
関わること。ごみの  
ポイ捨て防止やボラ  
ンティアなど身近な  
ところから考えてい  
きたい」と述べた。

市川さんの講義を聴講  
する生徒＝浜松市中央  
区のオイスカ浜松国際  
高